

深澤和子さん追悼

社会福祉学科 学科長 幸 津 國 生

深澤さん。お亡くなりになる、ほんの二週間前にお見舞いに伺ったときは、病院に入って食欲が出てきたので体力を付け体調を整えて秋からの学期にそなえとお元気そうでしたのに、まことに残念です。昨年度はほぼ一年間療養のために休職されましたが、療養の甲斐あって今年度は四月に復帰されて、前期の授業に明るく取り組まれ、これから本格的に研究・教育を再開しようとされていた矢先のことでした。ご専門の社会保障論・社会保障史の中で主要なテーマとしてイギリスの労働組合の年金問題を取り上げられ、このテーマの論文でロンドン大学にて博士の学位を取得されました。この論文をイギリスで発表されるご計画であったと伺っておりますが、国際的にも評価されるお仕事の刊行を自ら進められる機会が失われたということは学問的に大きな損失です。ご逝去の後刊行された別の論文集をお仕事のよすがとする他はありません。本学でのご在職期間は短いものでしたが、その中でも熱心に教育に取り組まれ、立派なゼミ論文集が発行されるという成果も生まれました。お教えを受けたゼミ生もしっかり育てております。ご在職中深澤さんのお人柄のおかげで学科全体が温かな雰囲気にも包まれておりました。心からお礼申し上げます。深澤さんにとって気持ちよくお仕事のできる職場であったとするならば、そのことを私たちの慰めとして、悲しみを越えてこれから歩んでまいります。どうぞ安らかに眠りください。